

2013 年度第 2 回 長崎大学経済学部ファカルティセミナー

2013 年度第 2 回長崎大学経済学部ファカルティセミナーを以下の要領で行います。教職員、大学院生、学生の参加をお待ちしています。

日 時：2013 年 6 月 20 日（木） 12:50～14:20

場所：東南アジア研究所 1 階 ファカルティセミナー室

報告者：藤田 泰昌（長崎大学経済学部）

報告タイトル：国際制度が小国主導となる条件
ーアジア太平洋地域を事例にー

要旨：

国家間での協調のあり方を左右する要因は何か。主要な政治的要因として、国際政治学は国家間の力関係と国際制度を挙げる。とはいえ、この 2 つは必ずしも独立の関係にあるわけではない。国際制度の内容は大国によって左右されることが多いからである。すなわち、中央集権的政府の存在しない国際社会における協調とは、つまるところ国家間の力関係に規定されるものだという理解にいきつく。実際、GATT/WTO や NPT（核不拡散条約）の合意内容など、こうした通説を裏付ける例を挙げることはたやすい。だが、アジア太平洋地域の ARF（ASEAN 地域フォーラム）のような国際制度は、このような通説では理解できない。ARF はアメリカ、中国、ロシア、日本といった諸大国を含む国際制度だが、ASEAN という小国グループが主導しているとのコンセンサスがあるからである。では、どのような条件が小国主導を可能にするのだろうか。この問いに対して本報告では、諸国の選好の位置関係がそのカギになることを理論的に示した上で、アジア太平洋地域の国際制度間比較を通じて、本報告の議論の例証を行う。

ファカルティセミナーでの報告を希望される方は、研究委員会ファカルティセミナー担当者（大倉）までご連絡下さい（メール：okura@nagasaki-u.ac.jp 内線：328）。また外部者による報告も受け付けています。